

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、イエレンFRB議長の発言を受け、引けにかけて対レアルでドル買いが終始優勢の展開。3.10台まで一時ドル高レアル安が進行する局面も見られた。イエレン議長は講演において、「労働市場は本格的な回復に近づいているものの、まだそこには到達していない」と発言した一方、「想定通りに景気回復が続いた場合、年内のいずれかの時点でFF金利誘導目標引き上げの最初の措置を講じることが適切になる」との考えを示した。但し、仮に利上げに踏み切ったとしても、「その後の正常化に向けたペースは漸進的なものになると想定している」とも続けている。公表された米4月消費者物価指数(CPI)が強い内容となったことも、この日のドル買いを後押しした。CPIは前月比では0.1%の上昇となり、3月の0.2%上昇からは鈍化したものの、変動の大きい食品とエネルギーを除いたコアCPIでは前月比0.3%上昇し、2013年1月以来の大きな伸びを示した。なお、ブラジルでは5月IPCA-15が公表され、前年比で8.24%の上昇を記録。中銀の見通しとは反対に、8%を上回る高インフレが継続している。

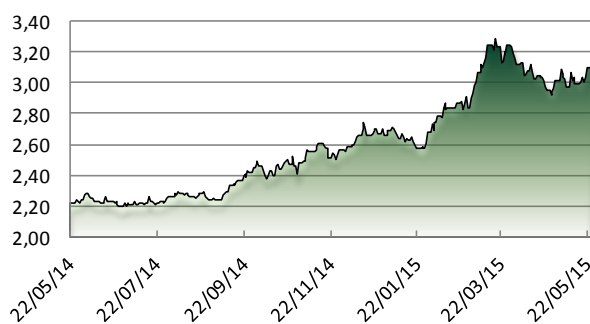
ブラジル政府は財政健全化策の一環として、銀行やクレジット会社等への社会負担金(CSLL)を従来の15%から20%へ引き上げることを決定した(30~40億レアルの歳入増加が期待されている)。失業保険や遺族年金の削減など、労働者の権利を損なう恐れのある健全化策の推進は大規模な抗議活動に発展する可能性があるため、一部では本施策はその事態を避けるための措置との見方も出ている。また、政府は今年の歳出凍結規模を従来の800億レアルから690億レアルに引き下げた模様。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月21日	5月22日	前日比	4月22日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,83	39,30	-0,53	39,83	-0,53
USD / BRL Spot	BRL	3,0382	3,0942	+0,0560	3,0108	+0,0834
USD / JPY Spot	JPY	121,04	121,54	+0,50	119,91	+1,63
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	55.112	54.377	-735	54.617	-240
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	221,9	222,3	+0,4	229,3	-7,0
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,36	12,17	-0,19	12,57	-0,40
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,77	13,64	-0,13	13,54	+0,10
3 Months US Dollar Libor	%	0,282	0,285	+0,003	0,278	+0,007
CRB Index (国際商品指数)	Index	228,2	225,6	-2,6	220,8	+4,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

